

2024年度休眠活動支援 信州社会課題解決の担い手ステップアップ事業 選定結果

【選定過程】

- ・ 公募の実施概要：公募期間は2025年5月1日～8月29日まで。公募説明会と個別相談会をセットで、地域を変えて4回実施したほか、個別フォローを行った。
- ・ 外部審査員による 審査の実施：3名の外部審査委員に対して、9月16日に書類（支援対象活動計画書、団体情報入力シート、定款、役員名簿、団体状況ヒアリングシート、事務局コメント、各団体の事業報告書・決算報告書等）をお送りし、書面審査を行っていただいた。  
その結果を集計した上で、2025年9月26日にオンラインにて審査会を開催し、採択団体の選定を行い、応募があった9団体全てを採択とした。

No.	団体名	地域	支援対象活動計画の名称及び概要	選定理由	支援の内容
1	NPO法人Oooka 森の学び舎	長野市	組織運営体制の見直し、資金調達の仕組み検討等	人口約700人という大岡地区で、地域資源を活かした活動を展開しています。代表理事と事務局長の交代時期を迎え、法人のあり方や今後の方向性を検討するのによりタイミングであり、外部からの支援が有効です。課題認識が多岐に渡っているので、伴走支援を入れながら組織診断で課題の優先付けをし、ステップを刻みながら積み重ねていくことに期待します。また、小さな地域だからこそその強みを活かすために、地域に開かれた対話の場を設けることにも期待があります。	（全団体共通） 集合研修によるピアラーニングと組織診断を行い、各支援対象団体の組織基盤強化計画を策定する。  各支援対象団体のニーズに応じて、専門家をマッチングしたり、研修会を設けたりといった支援を行う。  （個別支援プログラム：経理、ガバナンス・コンプライアンス、コミュニティオーガナイズিং、広報・ファンドレイジング、事業評価、など。個別専門プログラム：地域ニーズ把握、専門能力向上、など。）
2	NPO法人リベルテ	上田市	運営・事業推進体制の見直し、寄付促進の検討等	障害のある人が地域で暮らすために、アートを通じて社会の構造に働きかけるという先駆的な活動を多角的に行っており、他団体のロールモデルにもなっている団体です。代表中心の運営から、スタッフの自律的な運営に切り替えたいと代表自身が感じており、そのためには本事業による組織診断や伴走支援が必要であるとご応募いただきました。団体内でも職員研修等を通じて一部取組みに着手しており、組織力向上の実現性が高いと考えます。	
3	NPO法人まちの縁側なから	御代田町	運営体制の見直し、寄付拡大も含めた財源確保の検討等	長年、地域とのつながりの中で地域の居場所を運営してきた団体です。世代交代を行うにあたり、組織のあり方をどうしていくのか、将来像を団体内でどう合意形成していくのがよいか、等について、伴走支援でいっしょに考えることが有効です。組織課題については現時点では十分掘り下げられていないので、組織診断を行い、課題を明確化してひとつずつ取り組んでいくことに期待します。	
4	NPO法人WHITE CANVAS	安曇野市	運営体制の見直し、法的基盤の整理等	障がい者アートの専門性を背景に、制度（生活介護事業）を活用して重度障がい者の日中活動を行っています。地域社会とともに支え合い学び合うという団体のミッションをどう追求していくか、そのための資金獲得をどうするかという課題に直面していること、経営面の支援やガバナンスの強化も必要であることから、本事業での支援が有効です。	
5	特定非営利活動 子ども若者STEPハウス	岡谷市	資金調達の仕組み検討、情報発信の強化等	フリースクールを卒業した若者を中心に、不登校や大人のひきこもりの方々の居場所を運営しています。組織を持続的にしていくにはどうしたらいいかという課題感を持っているので、この機会にNPO運営の基本を学びつつ、組織としての運営に切り替えていくのがよいでしょう。そのために、組織診断のプロセスや伴走支援が有効です。	
6	NPO法人子どもサポートチームすわ	諏訪市	運営体制の見直し、財源多様化の検討、広報の充実、政策提言の強化等	30年に渡りフリースクールを運営してきた団体です。スタッフの高齢化と新規人材の採用・育成・定着に課題意識を持っており、組織全体で運営を担っていけるような組織マネジメントに転換していくためには、第三者を交えて組織診断や組織基盤強化策に取り組むことが有効です。	
7	NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ	伊那市	中期目標の設定・共有、寄付や新規事業による財源確保の検討、事業の持続性向上に向けた検討等	不登校生徒と保護者、生きづらさを持つ若者を対象に長年活動してきた団体です。人材不足や世代交代、組織文化などに危機感を持つ中、創設者から後継者への事業承継を進めている最中です。そのプロセスで中期計画の策定等に取り組みたいという希望があります。まずは本事業において組織診断や伴走支援を行うことで、客観的な視点を取り入れたり、合意形成がしやすくなるといった効果が期待できます。	
8	ネイバーシップ	伊那市	財務体制・多様な資金調達の仕組み検討、持続可能な運営基盤の確立等	地域の学びを地域でつくっていくために、地域の多様なメンバーで立ち上げて間もない団体です。単なる事業体としてではなく、市民活動としての展開に期待があるので、伴走支援を受けながら着実に一歩ずつ進めることに期待します。それが、将来ビジョンの実現につながると考えます。	
9	NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター	泰阜村	寄付の促進・財源の多様化、事業運営体制の安定化等	自然環境の中での子どものエンパワーメントに約40年取り組んできた団体です。社会環境の変化や、参加する方の背景も変わってきていることもあり、世代交代と新たな事業展開の必要性を認識しています。本事業への参加が、特に若いスタッフの意識づけや学びの場になることに期待します。	